

「農学部創立100周年」記念式典

●記念植樹式

2024年11月22日に、峰キャンパスグリーンスペースにおいて、峰ヶ丘同窓会 宇田 靖会長、宇都宮大学 池田 幸学長、農学部 山根 健治学部長ほかのご出席を賜り、「宇都宮大学農学部創立100周年」記念植樹が行われました。植栽された木は、東京大学大学院理学系研究科附属植物園元主任の久保田 秀夫氏の自宅で栽培されていた桜の品種で、2021年に日本花の会によって新しい品種として認定された、「日光紅姫桜（ニッコウベニヒメザクラ）」です。同じくグリーンスペースに80周年記念植樹として植栽された桜「思川（オモイガワ）」とともに、農学部の次の100年に向けて毎年花を咲かせることが期待されます。



池田学長、宇田会長、山根農学部長による植樹

●記念碑除幕式

2025年6月21日に、峰キャンパスグリーンスペースにおいて、峰ヶ丘同窓会 宇田 靖会長、松澤 康男顧問、宇都宮大学 池田 幸学長、農学部 山根 健治学部長、共同教育学部 梶原 良成名誉教授ほか峰ヶ丘同窓会理事のご出席を賜り、「宇都宮大学農学部創立100周年」記念碑除幕式が行われました。この記念碑は、共同教育学部の梶原 良成名誉教授が設計したもので、農学部を象徴し100周年を記念するのに相応しい場所として、峰キャンパスの農学部エリアのほぼ中心である、グリーンスペースの中央に設置されました。記念碑は、100周年を記念して100cm球形のステンレス鏡面仕上げとし、碑文（いのちをはぐくみ 環境との共生をめざす農学を学び ここ峰ヶ丘から 若者たちが未来に羽ばたく）が刻まれています。また、球体の周囲には、樹木が植栽され、緑に覆われた山型のなかに人々が集い、想いを巡らす広場として設計されています。訪れた人々は、碑文を辿りながら、そこに映る樹木・空・自分自身を眺め、過去と未来に想いを巡らすことができます。



宇田会長、松澤顧問、山根学部長、池田学長による除幕式